

## 第10回土木合同セミナー 「復興と防災を考える」を開催しました！

土木合同セミナー実行委員会事務局  
盛岡広域振興局土木部

平成25年12月10日（火）、岩手県産業会館において「第10回土木合同セミナー」を開催しました。

今年度の同セミナーのテーマは「復興と防災を考える」。改めて被災地の復興に向けた取組状況や復興の現状と課題を理解し業界の枠を超えて復旧・復興に取り組んでいくこと、並びに、今夏本県でも頻発した局地的大雨について、発生原因やメカニズムを理解し今後の防災に備えること等を目的とし、2名の行政関係者から講演をいただきました。

### 【講演】

#### ①「局地的大雨と防災情報について」

盛岡地方気象台 台長 北川 貞之 氏

#### ②「東日本大震災津波からの復興の取組状況について」

岩手県復興局 復興担当技監 小野寺 徳雄 氏



### 【講演①】講師 盛岡地方気象台台長 北川貞之氏

北川氏からは、「局地的大雨と防災情報について」と題して、大雨発生メカニズム、8月9日に発生した大雨の事例、近年の気象災害の傾向、気象庁が発表する防災情報、そして平成25年8月30日から運用を開始した特別警報について講演をいただきました。

特に、特別警報については、数十年に一度の大雨や暴風、大雪などが府県程度の広がりをもって起こることが想定される場合に発表となるが、特別警報は万全ではないため、従来の土砂災害警戒情報や指定河川洪水予報等の発表が出た場合は、特別警報の発表を待たずに防災行動をとる必要があると述べられました。



盛岡地方気象台 北川台長

### 【講演②】講師 岩手県復興局復興担当技監 小野寺徳雄氏

小野寺氏からは、「東日本大震災津波からの復興の取組状況について」と題して、被害状況とこれまでの主な取組み、復興計画の概要、復興に向けた取組状況、復興の現状と課題について講演をいただきました。

特に課題については、復興事業を担う自治体のマンパワー不足の状況、自由度の高い財源措置の必要性並びに事業用地確保に係る現行法制度内での対応の限界状況から国への特例制度の創設要望を実施した内容等について説明がありました。

最後に、復旧・復興事業に求められるものは、安全・住まい・なりわいに関してはスピードだが、まちの創造とふるさとの再生は一度立止まるとの熟議・熟考が必要と述べられました。



岩手県復興局復興担当 小野寺技監